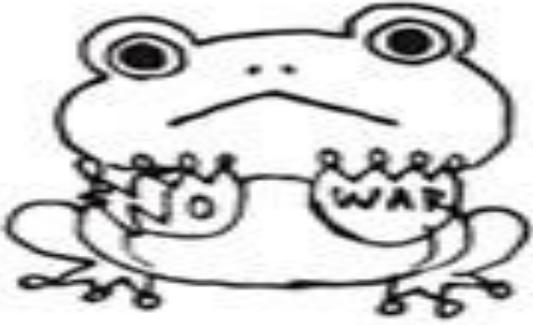


うせーらんきよーや！
(拒絶！)



沖縄は

怒っている

5・1集会

- オスプレイ配備撤回
- 普天間基地即時閉鎖
- 辺野古新基地建設阻止
- 高江ヘリパット建設を許さない
- 与那国への自衛隊配備阻止

日時：5月1日（水）

時間：18：30 開場、19：00 開始

会場：文京区民センター3A（3階）

資料代：500円

訴え：**山城博治**
高里鈴代

・ 沖縄平和運動センター事務局長

・ 沖縄平和市民連絡会共同世話人

・ 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会・共同代表

主催：うせーらんきよーや！沖縄は怒っている5・1集会実行委員会

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック（090-3910-4140）

日米両政府が 昨年の10月に配備に反対する「オール沖縄」の声を踏みにじり、MV22 オスプレイを強行配備してから6か月が経過しました。オスプレイは連日、日米合意に違反して、沖縄の空を我が物顔で飛び回っており、県民は墜落の恐怖に脅える毎日です。日米両政府はさらに7月までに12機を追加配備しようとしており、また嘉手納基地への空軍のCV22 オスプレイの配備計画も明らかになっています。

辺野古新基地建設では、 1月28日に総理大臣に提出した「建白書」に掲げられている、県内移設断念を求める県民の総意を踏みにじり、3月中にも辺野古の海の埋め立て申請を強行しようとしています。

東村・高江へのヘリパッド建設では、 住民を裁判で弾圧しながら、連日建設工事を強行しています。2月末までに1か所は完成しましたが、1つを作るのに6年かかりました。高江の住民は残りの5か所の建設阻止に向けて新たな決意を打ち固めています。

与那国への自衛隊配備では、 2013年度予算で敷地造成費など62億円を計上し、2015年度までに100名の配備に向けて突き進んでいます。住民投票は実現できませんでしたが、誘致賛成を上回る反対署名が集まり、配備反対の世論が高まっています。

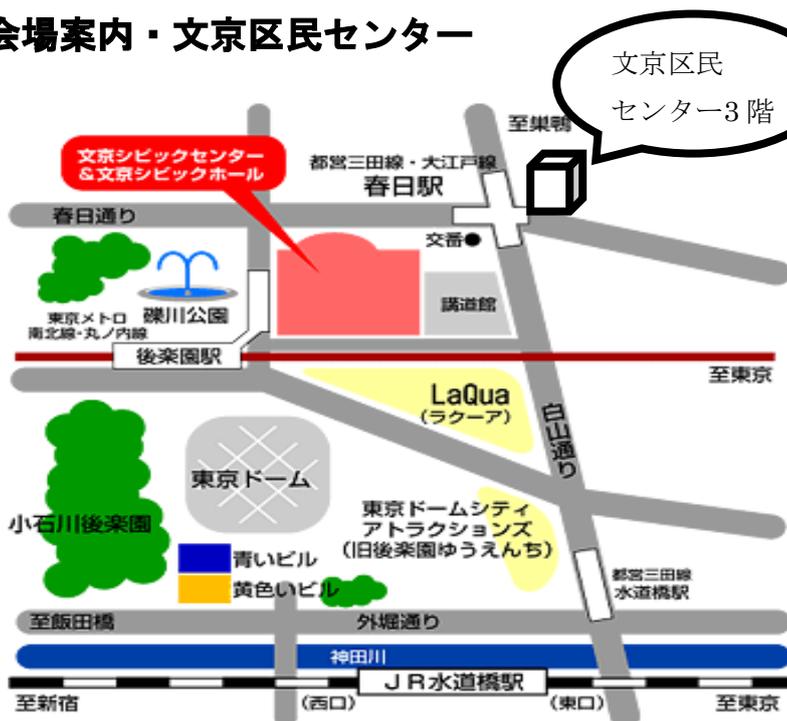
7月までのオスプレイの追加配備の強行、県内移設に反対する県民の総意を切り崩そうとする政府の圧力、7月からの高江での工事の再開強行、8月の与那国町長選挙を前にしての建設用地確保。いずれもこれから重大な局面をむかえます。

その上さらに、 政府は日本の独立と引き換えに沖縄を米国に売り渡した4月28日(沖縄にとって「屈辱の日」)を日本の主権回復の日として沖縄の怒りの声を踏みにじり記念式典を強行しようとしています。

私たちは、この重要な局面をむかえるにあたり、決意を新たにして沖縄と日本「本土」の連帯を強化し、政府の沖縄差別を糾弾し、沖縄の基地強化、軍事植民地化の強化を許さない怒りの集会を開催します。

日本政府による沖縄への基地押し付けに怒りを持った多くの皆さんの集会への参加を呼びかけます。

会場案内・文京区民センター



交通アクセス 最寄駅

- 東京メトロ丸ノ内線 後楽園駅
→4bまたは5番出口【徒歩6分】
- 東京メトロ南北線 後楽園駅
→ 5番出口【徒歩6分】
- 都営地下鉄三田線／大江戸線 春日駅
→A2出口【徒歩2分】
- JR中央・総武線 水道橋駅
→【徒歩15分】

軍事基地は
いない

